令和７年度　和歌山市立有功東小学校　スクールプラン

校長名　小林　和歌　　　作成日　令和７年　５月　１日

和歌山市学校教育目標

〇確かな学力の育成
〇道徳教育の充実
〇健やかな体の育成
〇特別支援教育の充実
〇不登校・いじめ問題の解消
〇子どもの安全確保の徹底
〇地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

〇子供に学力をつけてほしい
〇明るく楽しい学校にしてほしい
〇相手の気持ちがわかる子供に育ってほしい
〇地域を好きな子供になってほしい

【学　校　教　育　目　標】

自らの世界を切り拓こうとする主体的・創造的な子どもを育成する

【めざす児童（生徒）像】

・追求する子
・自己を見つめられる子
・共に伸びる子

前年度の学校評価

〇取り出しで別に学習指導を行うのはよい。
〇子供は楽しく学校に通っている。
〇いじめの早期発見、課題解決のためのチームが必要
〇地域学習に取り組み、地域と連携がとれている。保護者に学校の取り組みを知らせるのはよい。

児童（生徒）の実態

〇落ち着いて学習に取り組んでいる。
〇体験活動は意欲的であり、探求しようとする姿がみられる。
〇見通しを持って取り組む力が弱い。
〇学習がなかなか定着せず、個別の対応が必要な児童が各学級に見られる。

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
重点目標	◎基礎基本の定着 ◎子供が見通しを持って取り組む学習の推進 〇読書活動の推進 〇家庭学習の充実	◎道徳教育・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止・早期発見 〇仲間づくりと集団活動の推進 〇自分を好きと言える子を育てる	◎体力向上の取組の推進 ◎基本的生活習慣の確立 〇危機回避能力の育成	◎家庭・地域との連携推進 ◎地域の資源活用の更なる推進 〇中学校区における学校間連携の推進
具体的な取組	〇家庭学習、帯の時間、放課後学習、読書推奨で基礎学力をつける。 〇学習課題、その解決への道筋を明確にし、児童が見通しを持って主体的に取り組むことができるようにする。生活科・総合的な学習を通して検証する。 〇振り返りにより、自己の成長を見つめられるよう指導し、自己肯定感を高める。 〇学校図書館の常時開放・読み聞かせ	〇道徳の授業の工夫改善に努め、よりよく生きるための道徳性及び道徳的実践力を身に付けさせる。情報モラルやネット社会の危険性ついて学ぶ機会をもつ。 〇いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期対応に努める。 〇たてわり活動や児童会主催の集会活動を通し、学年を越えて集団で過ごす楽しさを味わわせる。	〇体育科の授業の充実を図り、子供の体力向上に努める。運動に親しむ機会を推進し、運動器具等の環境整備に努める。 〇外遊びを推奨する。 〇学期ごとに生活チェック週間を設け「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する。 〇避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。	〇学校便り、HP、地域共育便り等を通して、学校の考えや学校・学級の様子を積極的に発信する。 〇生活科・総合学習における地域学習を通して、地域の歴史や地域の方々の素晴らしさを知り、地域への愛着を育む。 〇小中連携した学校運営協議会員を推薦し取り組みを進める。
指標	・全国学力・学習状況調査で正答率が県平均を上回る。 ・よくわかる授業、子供主体の授業を実践したと思う。（児童・教師80%）	・学校が楽しいと感じる（児童90%） ・学校はいじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる。（保護者80%）	・朝ごはんを食べた、（児童100％） ・避難訓練や交通安全教室など計画し、実践する。（学期1回）	・学校の様子がよく伝わった。（保護者80%） ・地域資財を生かした学習ができた（教師80%）

◎…特に重点的に取り組むこと